



トーカロ株式会社

2023 年 3 月期 第 2 四半期決算 会社説明会

2022 年 11 月 9 日

イベント概要

[企業名]	トーカロ株式会社		
[企業 ID]	3433		
[イベント言語]	JPN		
[イベント種類]	決算説明会		
[イベント名]	2023 年 3 月期 第 2 四半期決算 会社説明会		
[決算期]	2022 年度 第 2 四半期		
[日程]	2022 年 11 月 9 日		
[ページ数]	32		
[時間]	13:30 – 14:11 (合計：41 分、登壇：30 分、質疑応答：11 分)		
[開催場所]	インターネット配信		
[会場面積]	145 m ²		
[出席人数]	20 名		
[登壇者]	4 名		
	代表取締役 社長執行役員	三船	法行（以下、三船）
	取締役 常務執行役員 管理本部長	後藤	浩志（以下、後藤）
	経理部長	細見	憲司（以下、細見）

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasia.com

経営企画室長

清水 浩 （以下、清水）

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



登壇

司会：それでは、定刻となりましたので、ただ今から、トーカロ株式会社様の 2023 年 3 月期第 2 四半期決算説明会を開催いたします。

今回の説明会は、会場での開催に加え、ライブ配信形式のオンラインと併せたハイブリッド形式で開催させていただきました。

最初に、当社からお迎えしております 4 名様をご紹介します。

代表取締役社長執行役員、三船法行様。

三船：どうぞよろしくお願いいたします。

司会：取締役常務執行役員 管理本部長、後藤浩志様。

後藤：後藤です。よろしくお願いいたします。

司会：経理部長、細見憲司様。

細見：よろしくお願いいたします。

司会：経営企画室長、清水浩様。

清水：よろしくお願いいたします。

司会：本日は、三船様からご説明いただきます。ご説明いただいた後、質疑応答の時間といたします。続きまして、今回オンラインでご参加されている方からもご質問をお受けする予定です。

それでは、三船様、よろしくお願いいたします。

三船：皆さん、こんにちは。トーカロ株式会社社長の三船でございます。今日は感染対策がとれていますので、マスクを外してご説明申し上げたいと思います。

本日はご多用の中、トーカロ株式会社の会社説明会に出席いただきまして、ありがとうございます。また、日頃は私どもの業務の遂行に当たり、いろいろご高配をいただきましてありがとうございます。この席を借りまして御礼申し上げます。

今回も、今ご説明がありましたようにリアル開催とともにライブ中継を行っておりますので、合わせた出席者が 50～60 人だと聞いておりますけども、皆さんよろしくお願いいたします。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



それでは、早速ですが、今日の 2023 年 3 月期第 2 四半期決算会社説明会を開催させていただきます。

今日の内容は三つほど予定しています。まずは第 2 四半期連結決算の概要、それから 2023 年 3 月期連結業績予想、中期経営計画に対する進捗状況をご説明させていただきます。

第 2 四半期連結決算 実績概要



ハイライト

(1) 上半期として売上・利益ともに過去最高を更新

「半導体・FPD」「鉄鋼」が増収基調で推移
それ以外の分野も概ね予想どおりの進捗

(2) 海外子会社 増収増益

中国、台湾においても
半導体、鉄鋼関連の受注が好調

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

4

それでは、早速ですが、第 2 四半期連結決算の概要についてご説明します。

この上半期実績のハイライトは、一つは上半期として売上・利益ともに過去最高を更新したということで、それなりの良い成績を収めることができたと思います。特に半導体・FPD の関係、鉄鋼の関係が増収基調にありまして、それ以外で若干へこんだところもありますけれども、概ね順調に推移して増収増益となりました。

もう一つは海外子会社が好調なことです。日本の子会社は自動車の関係で苦戦しているのですが、海外子会社の方は中国 4-5 月にかけて、1 カ月間ほどロックダウンで工場を停止したことを踏まえれば、それなりに良い成績を収めることができました。海外においても、特に半導体・FPD の関係、鉄鋼の関係が好調に推移しました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

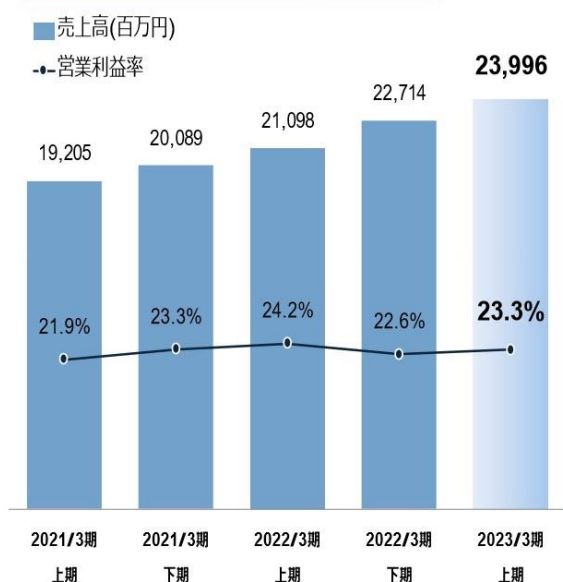


それからもう一つは、為替で円安の影響もありまして、その辺のプラスも出たところがトピックスになります。

第2四半期連結決算 実績概要



売上高と営業利益率



経常利益と経常利益率



(注) 2022/3期より「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更しており、過年度もこの変更を反映した組替え後の数値を記載しています。

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

5

続きまして、第2四半期連結決算の実績を、過去の4半期と比較したグラフでございます。

2023年3月期の上期は239億9,600万円の売上になっています。営業利益は55億円で、営業利益率は23.3%、それから右側のグラフは経常利益と経常利益率で、経常利益が60億円、経常利益率としては25.1%まできています。営業利益と経常利益の差は、為替差益で生じております。

これでいいますと、売上高、経常利益ともに半期ベースで、7半期連続の増収増益で、コロナ禍が始まった頃にちょっと落ち込んだところから半期ごと着実に伸ばしてきました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



第2四半期連結決算 実績概要



(百万円)	2022/3期 実績	2 Q 構成比	2023/3期 実績	2 Q 構成比	前年同期比増減	
					金額	率
売上高	21,098	100.0%	23,996	100.0%	2,898	13.7%
溶射加工(単体)	16,000	75.8%	18,205	75.9%	2,205	13.8%
半導体・FPD	9,938	47.1%	12,100	50.4%	2,162	21.8%
産業機械	1,757	8.3%	1,739	7.2%	△ 17	-1.0%
鉄鋼	1,623	7.7%	1,775	7.4%	151	9.4%
その他	2,680	12.7%	2,588	10.9%	△ 91	-3.4%
その他表面処理加工	1,195	5.7%	1,367	5.6%	171	14.4%
国内子会社	1,206	5.7%	1,197	5.0%	△ 9	-0.8%
海外子会社	2,615	12.4%	3,140	13.1%	524	20.0%
受取ロイヤリティー等	80	0.4%	86	0.4%	6	7.7%
営業利益	5,111	24.2%	5,581	23.3%	469	9.2%
経常利益	5,222	24.8%	6,033	25.1%	810	15.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,448	16.3%	3,919	16.3%	471	13.7%

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

6

続きまして、第2四半期の連結決算の実績概要です。

売上高は239億9,600万円で、前期の210億9,800万円に対して28億9,800万円のプラスで、13.7%の増収になっております。

そのうち、半導体・FPDが21億円のプラス、21.8%の増加となっており、全体を牽引しています。それから、鉄鋼のプラス9.4%が引っ張ってくれたところと、その他表面処理加工がプラス14.4%、海外子会社が20%のプラスになったことが寄与したこともありまして、全体として営業利益は55億円で9.2%のプラス。それから、経常利益は60億円で15.5%の増加、純利益は39億円と13.7%の増加になりました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



セグメント情報

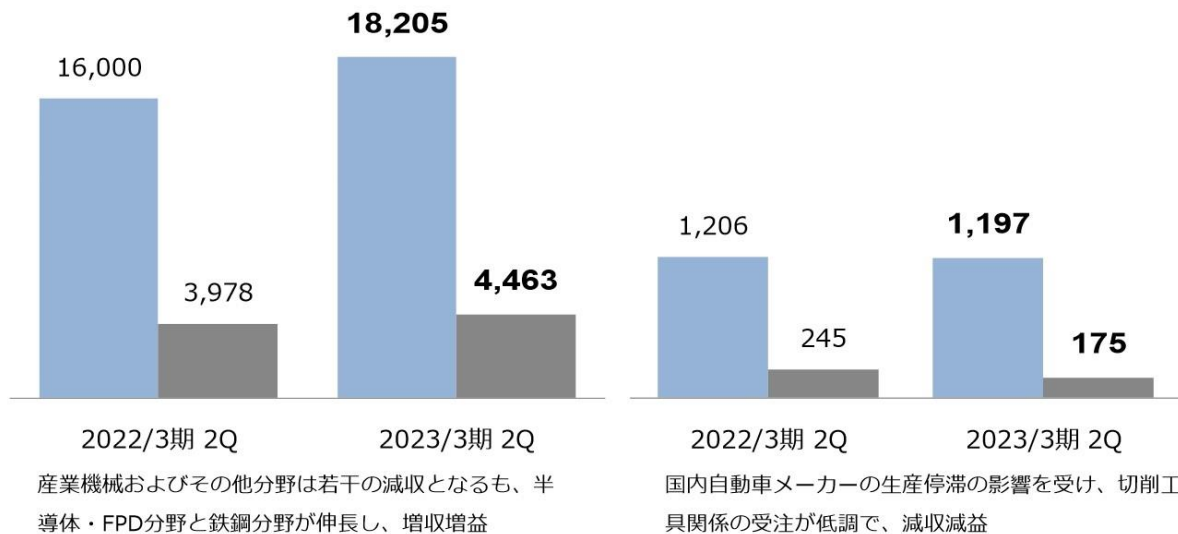


溶射加工(単体)

国内子会社

■ 売上高(百万円)

■ セグメント利益(百万円)



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

7

セグメント情報のグラフがこちらです。

私どもはセグメントを四つ持っておりまして、左側の溶射加工（単体）は、半導体・FPDや鉄鋼などを中心とする溶射加工ですけれども、一番伸び率が高く売上は182億円までできています。それから利益も44億6,300万円と増収となっています。

右側の国内子会社は、PVD加工をやっている会社で自動車関係との付き合いが強く、自動車業界がまだ不安定要素がありまして、自動車メーカーがある程度操業停止されたところもあって、若干の減収減益となっています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



セグメント情報

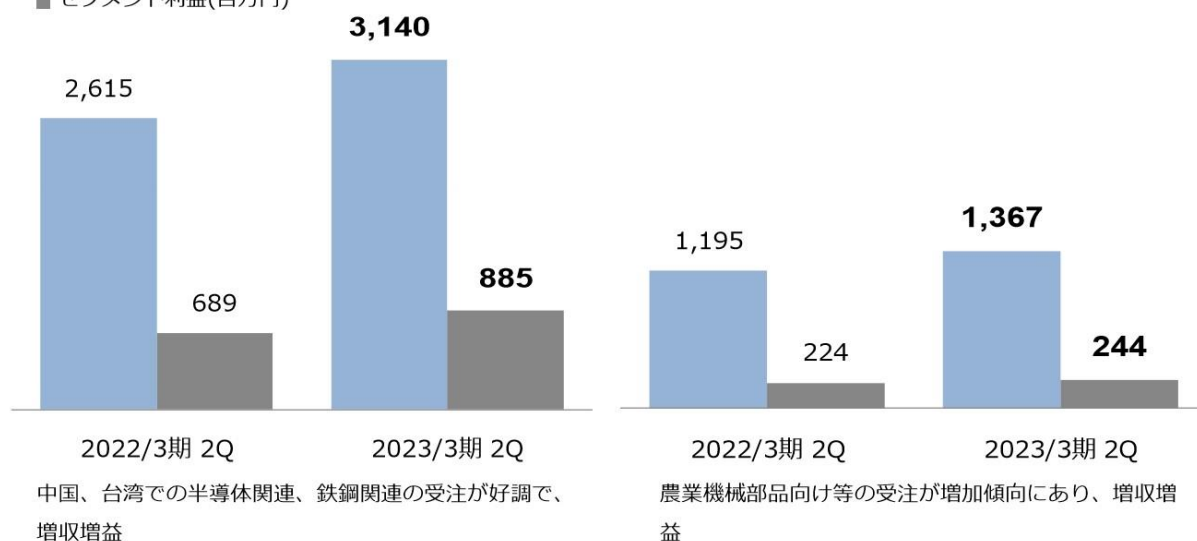


海外子会社

その他表面処理加工

■ 売上高(百万円)

■ セグメント利益(百万円)



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

8

それから、先ほども申しましたように、海外子会社が非常に良く、中国、台湾での半導体の関係は好調に推移しておりまして、コロナ禍以外は今好調です。今後どうなるかわからないところは確かにありますけれども、上半期までのところは順調に推移しました。特に為替の関係もありまして、プラスに働きました。

あと、その他表面処理加工は、農業機械部品向けの加工もやっておりまして、その分がかなりプラスになったところもございまして、売上 13 億 6,700 万円、利益 2 億 4,400 万円で増収増益になっております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



セグメント情報



(百万円)	前年同期比増減							
	2022/3期 2Q		2023/3期 2Q		売上高		セグメント利益	
	売上高	セグメント利益	売上高	セグメント利益	金額	率	金額	率
溶射加工(単体)	16,000	3,978	18,205	4,463	2,205	13.8%	485	12.2%
国内子会社	1,206	245	1,197	175	△ 9	-0.8%	△ 70	-28.7%
海外子会社	2,615	689	3,140	885	524	20.0%	195	28.4%
その他表面処理加工	1,195	224	1,367	244	171	14.4%	19	8.7%
合計	21,017	5,138	23,909	5,768	2,892	13.8%	630	12.3%

(注) 売上高のうち「受取ロイヤリティー等」は含まれておりません。

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

9

続きまして、セグメント情報をもう一度利益のところを中心に申し上げます。

一番上の溶射加工が2023年3月期第2四半期の売上182億円、利益44億円で、前期比でいいますと12.2%の増益となりました。

国内子会社、日本コーティングセンターは30%弱の減益となっています。海外子会社がプラス、その他表面処理加工もプラスに作用しているところが全体的な流れでございます。

特に海外子会社の関係は円安による効果はかなり出ており、売上高の5億2,400万円のプラスが出て、20%の増収になっているのですが、このうち3億4,700万円は為替の影響で、20%のうち13%は為替の影響でプラスになりました。

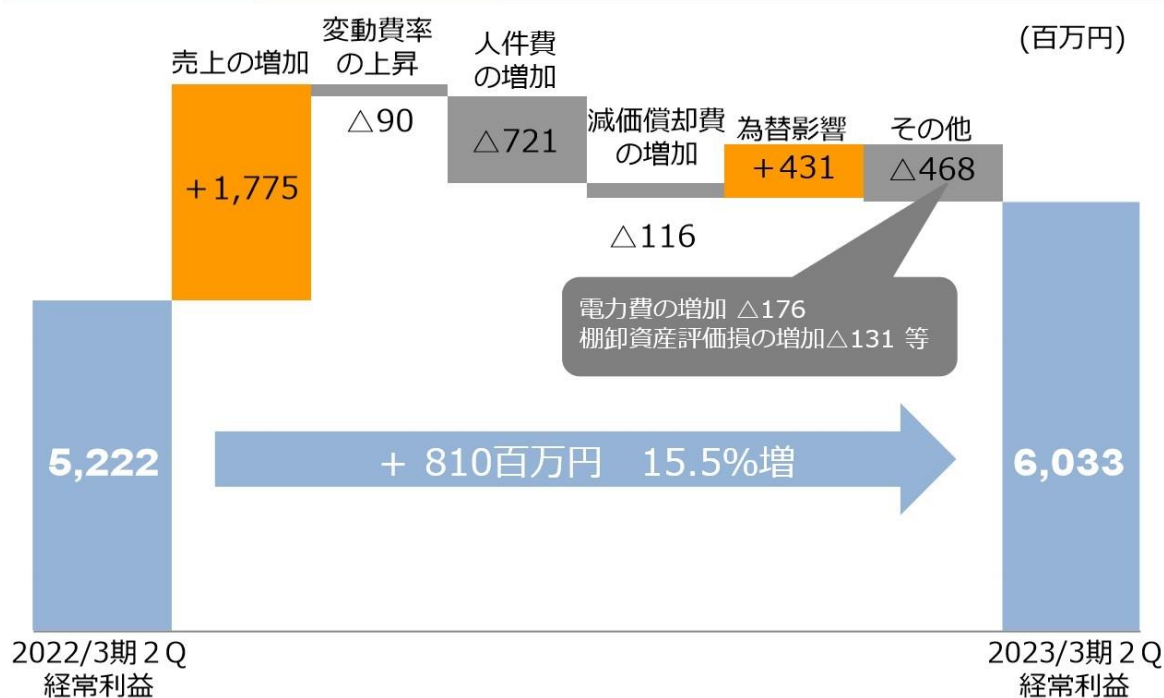
利益は1億9,500万円のプラス、28.4%の増益になっているのですが、そのうち9,600万円が為替の影響で、28%の半分の14%は為替の影響が今回の特徴になります。為替によってかなり動きました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



前年同期比 経常利益 増減要因分析



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

10

前年同期比で経常利益の増減要因を見ますと、全体的に 8 億 1,000 万円のプラス、15.5%の増益になっているのですが、売上高の増加が一番寄与しており、あとは為替で 4 億 3,000 万円のプラス影響が出ています。

二つ為替の影響がありまして、一つは先ほど申しました海外子会社の換算レートの関係が約 9,600 万円。あと 3 億 3,000 万円は、私どもはアメリカの会社と US ドルで取引をやっているものですから、その分で為替差益が出ています。

マイナスの要因もありまして、特にその他のところで電力費の増加が 1 億 7,600 万円ありまして、再生エネルギーを使用するための電力費のアップもあるのですが、それよりも燃料費調整額がありまして、以前は電力会社さんが上限を決めて抑えられていましたが、今期からは上限なくそのまま値上げになるものから、それがかなり効いてきています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



財政状態



(百万円)	2022/3期		2023/3期
	2 Q末	4 Q末	2 Q末
総資産	66,430	69,517	72,454
自己資本	46,633	49,099	52,170
自己資本比率	70.2%	70.6%	72.0%
有利子負債残高	5,073	4,249	3,526

- ・ 総資産は前期末比 29億36百万円の増加（流動資産の増加 31億27百万円）
- ・ 自己資本比率は前期末比1.4ポイント上昇の72.0%
- ・ 有利子負債は前期末比 7億23百万円の減少（新規借入なし）

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

11

財政状況です。

期末の総資産が 724 億 5,400 万円で、自己資本は 521 億円になっています。自己資本比率としては 72%までできております。

あと有利子負債は、返済した分が減っています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



キャッシュ・フローの状況



(百万円)	2022/3期 2 Q	2023/3期 2 Q
営業キャッシュ・フロー	4,706	5,005
投資キャッシュ・フロー	△ 1,820	△ 1,353
財務キャッシュ・フロー	△ 2,494	△ 2,430
現金及び現金同等物の期末残高	19,174	20,650

- ・当期のフリーキャッシュ・フロー（営業C F + 投資C F）は+36億円
- ・投資C F / 有形固定資産の取得 前期：△18億円 当期：△9億円
- ・財務C F / 配当金の支払額 前期：△13億円 当期：△15億円

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

12

キャッシュ・フローは、上半期の営業キャッシュ・フローはプラス50億円で、投資キャッシュ・フローがマイナス13億円ですので、フリーキャッシュ・フローはプラスの36億円になります。財務キャッシュ・フローは配当と借入金の返済でマイナス24億円になりました。最終的な当期末のキャッシュ残高が206億円になります。

それでは、上期の業績発表は終わりました、次に2023年3月期の連結業績予想についてお話を差し上げたいと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2023年3月期 連結業績予想の概要



前回（2022年7月29日）発表の業績予想から変更なし



(注) 2022/3期より「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更しており、過年度もこの変更を反映した組替え後の数値を記載しています。

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

14

2023年3月期連結業績予想の概要ですが、左に売上高と営業利益率、右に経常利益と経常利益率を示しています。

今期7月末に上方修正をしまして、482億円の売上に対して経常利益114億円を公表しておりますが、その数値については変更ありません。いかんせん先行きがかなり不安定な部分もありますので、この予想に向かってやっているとございます。

ただ、482億円、114億円という数字につきましても過去最高の利益になりますので、これを目指すのが今の状況でございます。

それから、純利益とROEについては、114億円の経常利益に対して純利益は74億4,400万円というところで、これも過去最高の利益になりますが、ここでROEが14.4%で予想しておりまして、ROEの目標が15%ですので、その辺に向けてもうちょっと利益を積み上げようとして取り組んでいます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



2023年3月期 連結業績予想



(百万円)	2022/3期		2023/3期		前期実績比増減	
	実績	構成比	7/29発表予想	構成比	金額	率
売上高	43,813	100.0%	48,200	100.0%	4,386	10.0%
溶射加工(単体)	33,043	75.4%	36,788	76.3%	3,744	11.3%
半導体・FPD	20,643	47.1%	23,968	49.7%	3,324	16.1%
産業機械	3,707	8.5%	3,819	7.9%	111	3.0%
鉄鋼	3,450	7.9%	3,639	7.5%	188	5.5%
その他	5,242	11.9%	5,362	11.2%	119	2.3%
その他表面処理加工	2,502	5.7%	2,638	5.5%	135	5.4%
国内子会社	2,399	5.5%	2,457	5.1%	57	2.4%
海外子会社	5,695	13.0%	6,137	12.7%	441	7.7%
受取ロイヤリティー等	171	0.4%	180	0.4%	8	5.2%
営業利益	10,255	23.4%	11,200	23.2%	944	9.2%
経常利益	10,571	24.1%	11,400	23.7%	828	7.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,909	15.8%	7,444	15.4%	534	7.7%

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

16

2023年3月期連結業績予想を一覧にまとめてみますと、売上高が482億円、前期比で43億8,600万円プラスの10%増になります。うち半導体が引っ張ってくれることは間違いなく、半導体・FPDが約240億円、33億円のプラスで16.1%の増収になるかと思います。

経常利益は、7.8%増の8億円アップで114億円、利益率として23.7%を目標にやっている次第です。

あと、海外子会社について為替の影響は上期にはありましたが、下期はそこまでの影響はないということで、この数値を出しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2023年3月期 第2四半期 進捗率



(百万円)	2023/3期 実績	2 Q 構成比	2023/3期 予想	通期 構成比	2 Q実績 進捗率
売上高	23,996	100.0%	48,200	100.0%	49.8%
溶射加工(単体)	18,205	75.9%	36,788	76.3%	49.5%
半導体・F P D	12,100	50.4%	23,968	49.7%	50.5%
産業機械	1,739	7.2%	3,819	7.9%	45.6%
鉄鋼	1,775	7.4%	3,639	7.5%	48.8%
その他	2,588	10.9%	5,362	11.2%	48.3%
その他表面処理加工	1,367	5.6%	2,638	5.5%	51.8%
国内子会社	1,197	5.0%	2,457	5.1%	48.7%
海外子会社	3,140	13.1%	6,137	12.7%	51.2%
受取ロイヤリティー等	86	0.4%	180	0.4%	48.3%
営業利益	5,581	23.3%	11,200	23.2%	49.8%
経常利益	6,033	25.1%	11,400	23.7%	52.9%
親会社株主に帰属する 当期(四半期)純利益	3,919	16.3%	7,444	15.4%	52.7%

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

17

次に、進捗率です。

ほぼ 50%近辺で推移しておりまして、特に半導体も 50.5%で、今世の中では半導体がどうなるか
 といろいろ言われているかとは思いますが、私どもはある程度受注残もございまして、下期
 についてはそれなりに乗り切れるだろうとは思っているのですが、その後がなかなか見えないところ
 もあります。為替差益についてはほとんど発生しないという前提で計画を立てています。

サポート

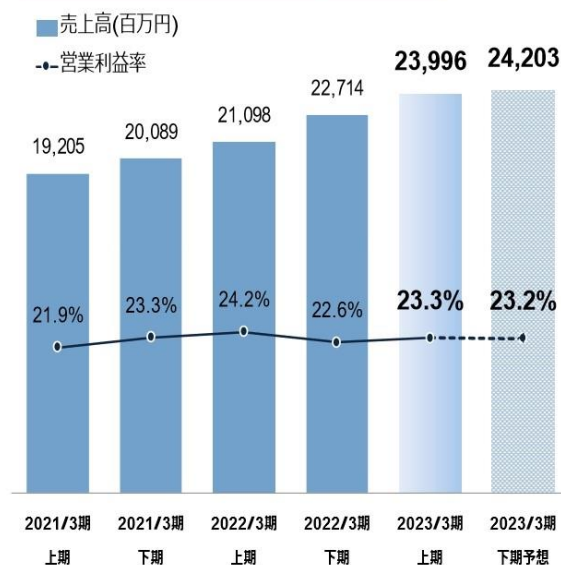
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



2023年 3 月期 下期予想



売上高と営業利益率



経常利益と経常利益率



(注) 2022/3期より「受取ロイヤリティー等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更しており、過年度もこの変更を反映した組替え後の数値を記載しています。

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

18

下期の予想として、左に売上高と営業利益率、右に経常利益と経常利益率を示しております。売上高は半期ベースでの過去 2 期と比較したのですが、コロナ禍でへこんだときから右肩上がりに上がっているところがございます。

利益も、上期までは 60 億 3,300 万円で右肩上がりでしたが、残念ながら下期は 53 億 6,600 万円、経常利益率で 22.2%ぐらいになりそうです。上期の 60 億円が、先ほども申しました 4 億円程度は為替差益で出たところもございまして、そういう意味では 60 億円は実力値ではないものですから、その辺は大目に見てもらって、若干経費的にも増えるところもございまして、下期は苦しい戦いになる感じがしています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



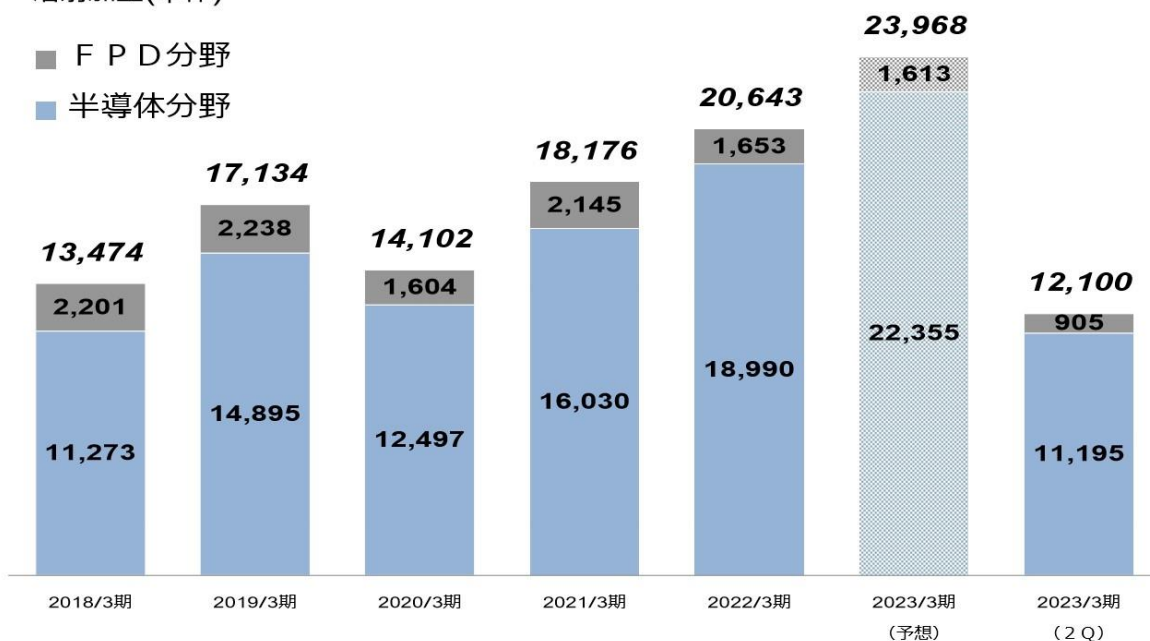
半導体・F P D分野の売上推移



(百万円)

溶射加工(単体)

- F P D分野
- 半導体分野



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

19

一番大きいところは半導体と FPD の分野です。これも 2018 年からの推移を示していますが、コロナ禍で落ちてから上がってきています。上期が終わったところで約半分ほど、進捗状況 50.5% できていますので、そういう意味では 239 億 6,800 万円が達成できるだろうと見ています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



半導体・FPD分野以外の売上推移



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

20

半導体・FPD分野以外では、240億5,200万円を予定してまして、今の進捗は118億円なので50%を切る数値になっています。その部分を、ある程度追い込みをかけながらになろうかと思えます。特に半導体が受注的には踊り場に来るところがありますので、そういう意味では半導体以外でいかに踏ん張るかが下期の目標になります。

やっこここの240億円を達成することによって、今まで最高だった237億円という3年前の売上をオーバーする形になりますので、半導体のように一気にはいきませんが、一步一步ずつ進んでいこうと考えております。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

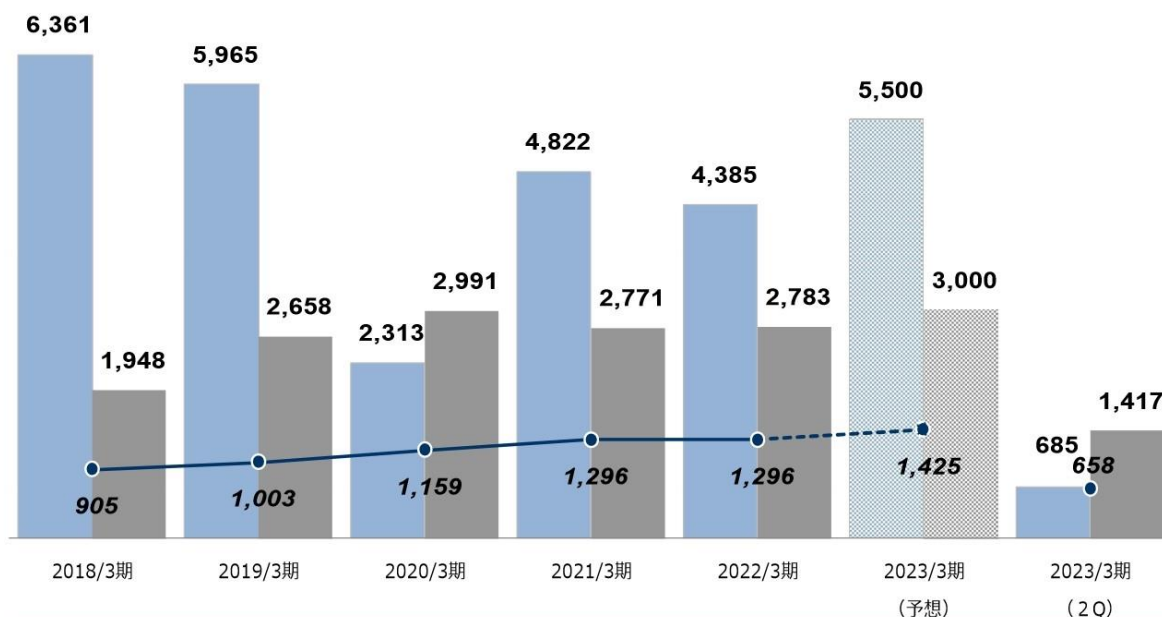


設備投資額・減価償却費・研究開発費



■ 設備投資額 ■ 減価償却費 ●-研究開発費

(百万円)



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

21

設備投資と減価償却、研究費について、今期は設備投資 55 億円、それから減価償却 30 億円を予定していますが、投資の方がまだ 6 億 8,000 万円ぐらいしか進捗していません。

元々下期に多い計画だったのですが、一部は装置自体の納入が遅くなっていて、上期はまだ低調な設備投資の額になっていますが、下期にはおそらく 55 億円近くまでいく感じになっております。研究費は 14 億円で、これも大体売上高の 3%を見込む形になろうかと思います。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



設備投資計画について



2023年3月期

設備投資予定額 55億円

(期初予定から変更なし)

トーカロ

東京・明石・北九州工場を中心に

生産能力増強など 35億円

国内子会社

生産能力増強など 2億円

海外子会社

漢泰国際電子(台湾)での新工場建設ほか 18億円

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

22

設備投資ですが、55 億円で期初の予定から変更はしていませんので、ほとんどこの数値でいく形にしています。

特に、東京・明石・北九州が中心になりますけれども、神戸・倉敷の工場も含めて全体で特に設備の増強が 35 億円と多く、それから国内の日本コーティングセンターで PVD の装置を含めて 2 億円を予定しています。

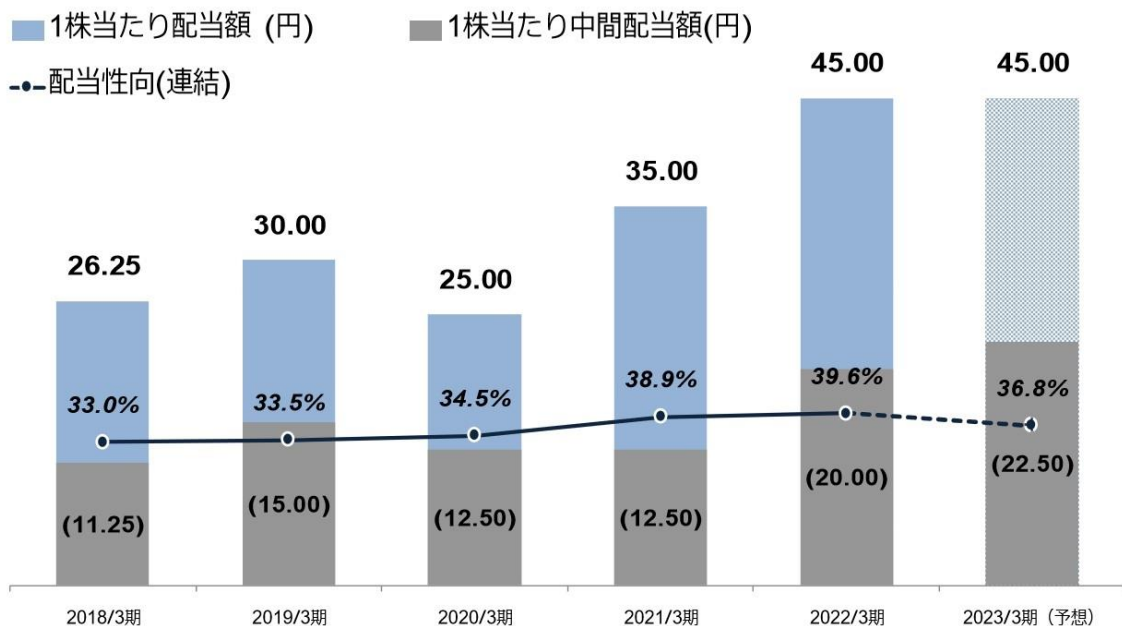
それから海外の子会社は、台湾で今建設中の工場がありまして、来年の今頃に立ち上がる形でその工事を進めていますので、全体で今期は 18 億円ぐらいでございます。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



1株当たり配当額・配当性向の推移



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

23

今期の1株当たりの配当と配当性向は、発表のとおり45円を予定しております、中間配当で22円50銭を12月にお支払し、年間で45円です。

今、1株の利益の予想が122円36銭となっていますので、大体配当性向としては36.8%になるかと思えます。前期40%近くまで行ったので、若干下がるところはあろうかと思うのですが、30%台の後半はキープしたいと考えています。

サポート

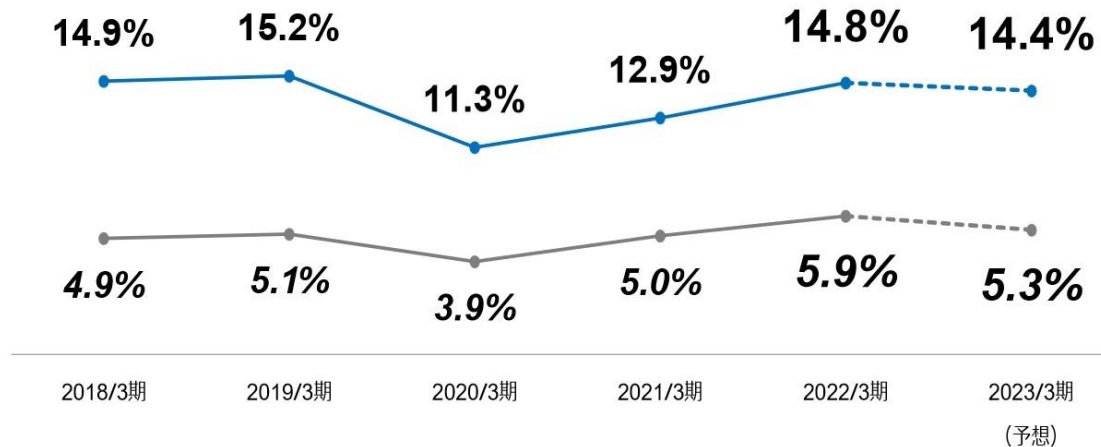
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



ROE・純資産配当率の推移



● ROE ● 純資産配当率



ROE (自己資本利益率) = 当期純利益 / 期中平均自己資本

純資産配当率 = 1株当たり配当金 / 期中平均1株当たり純資産 (= ROE × 配当性向)

Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

24

ROE と純資産の配当率の推移です。

先ほども申しましたように、ROE については 14.4%、それから DOE は 5.3%の予想ですが、目標が ROE は 15%で DOE は 5%なので、特に ROE の方を上げるべく、利益を特に上げることに執着したいです。

これで今期 2023 年 3 月期の決算予想を終わりました、次に、中期経営計画の進捗状況についてご説明したいと思います。

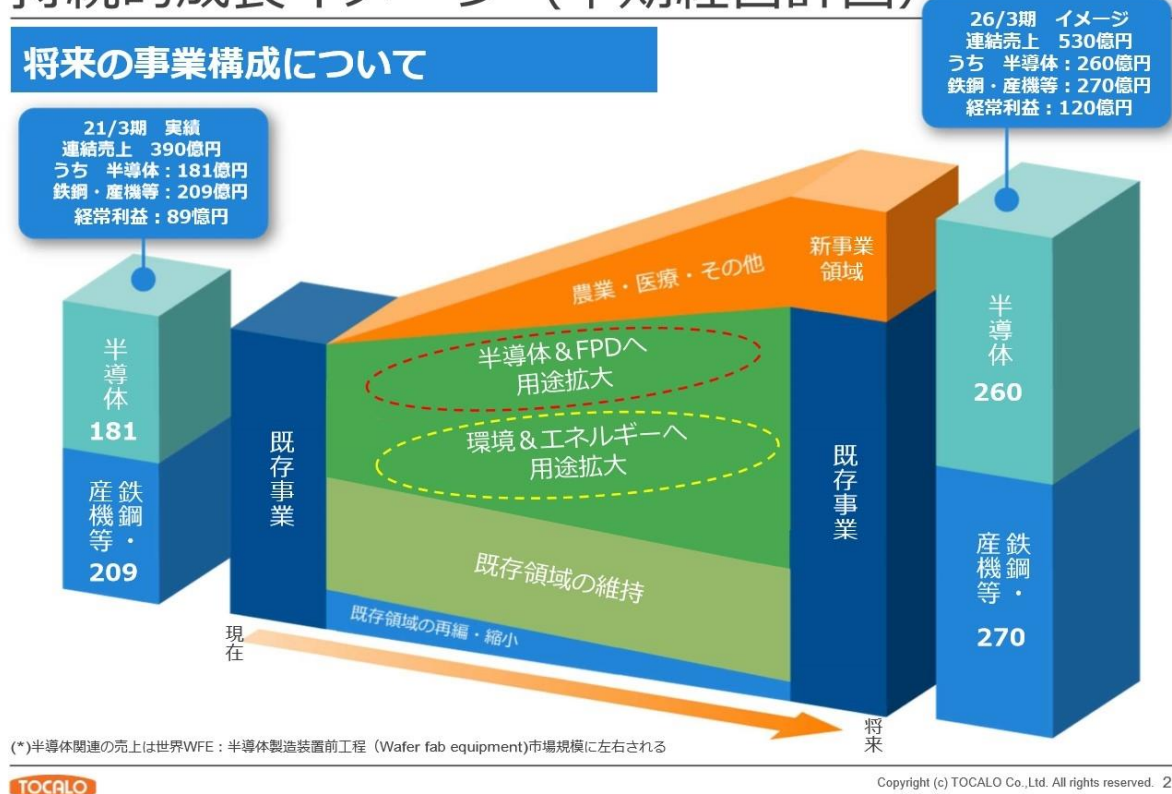
サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



持続的成長イメージ（中期経営計画）

将来の事業構成について



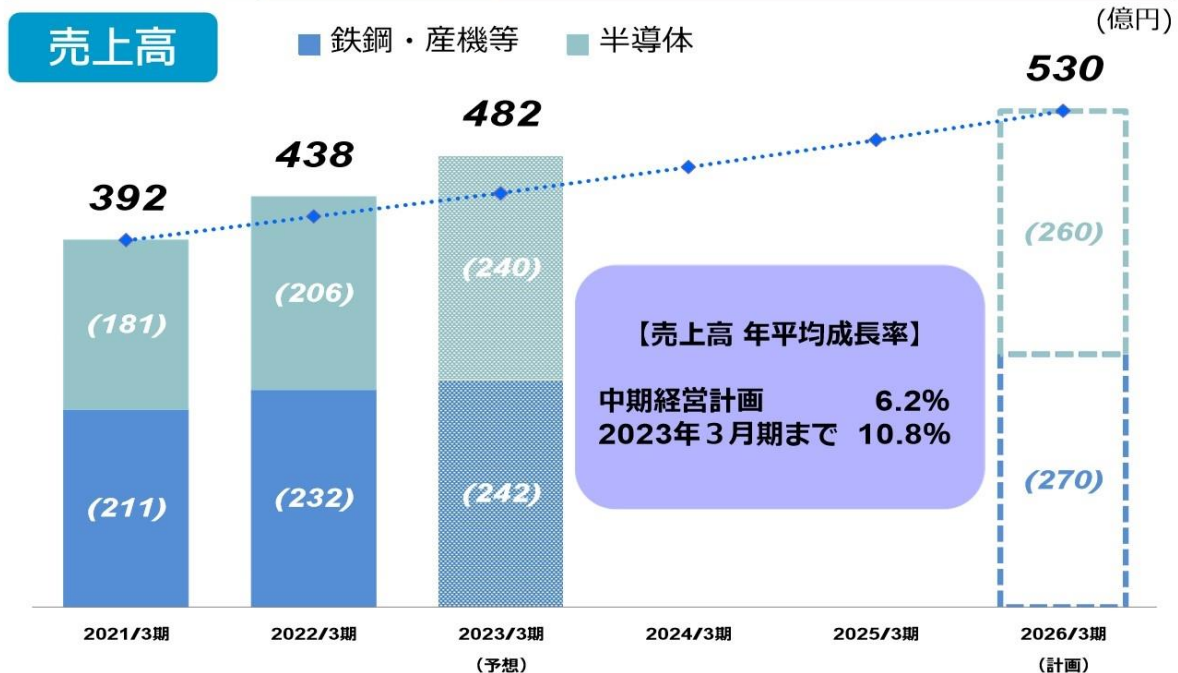
昨年発表したのですが、2021年3月期の実績をスタートラインとして、その時の数値は半導体が181億円、半導体以外で209億円、合わせて390億円でしたが、5年後の2026年3月期には売上高を530億円、利益としては120億円にしようと計画を立てています。

この数値が1人歩きしないように着実に進んでいかなければならないのですが、全体的には半導体・FPDを拡大しつつ、今ホットな環境&エネルギー分野での表面処理で、社会に寄与していこうと進んでおります。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com

中期経営計画（数値目標）の進捗状況



(注) 2022/3期より「受取ロイヤリティ等」の計上区分を営業外収益から売上高に変更しており、2021/3期の「受取ロイヤリティ等」2億円は「鉄鋼・産機等」の売上高に含めております。

Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

27

数字だけ今回はお話ししますが、数字的にはスタートラインが392億円の売上で、前期438億円、今期予想482億円ときていますので、年平均の成長率からいいますと、計画の6.2%に対して、今期482億円を上げると10.8%の成長率になります。次に説明しますが、半導体が寄与しています。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



中期経営計画（数値目標）の進捗状況

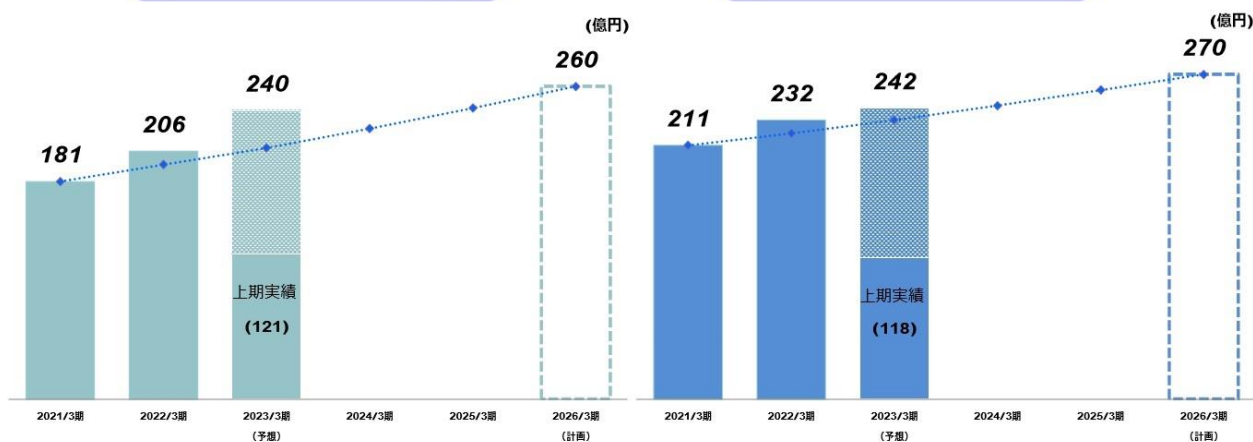


「半導体」の売上高

【売上高 年平均成長率】
 中期経営計画 7.4%
 2023年3月期まで 14.8%

「鉄鋼・産機等」の売上高

【売上高 年平均成長率】
 中期経営計画 5.0%
 2023年3月期まで 7.1%



Copyright (c) TOCALO Co., Ltd. All rights reserved.

28

半導体の売上高を見てみますと、181億円のスタートラインに対して今期は240億円ぐらいまで来るだろうということで、この成長率が14.8%で、元々の目標7.4%の倍ぐらいのスピードできています。

それから、その他半導体以外の部分、鉄鋼・産機等の売上も、計画では5%の伸びが今期予想までで7.1%と、少しずつですけども上回って推移しております。

サポート

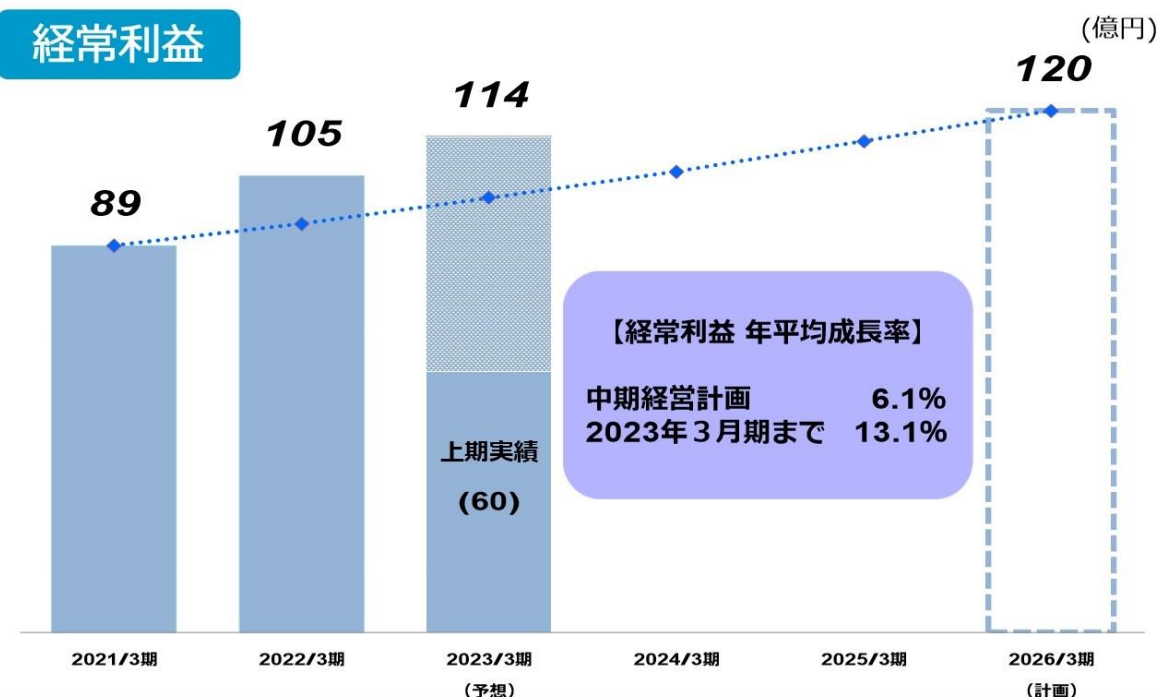
日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



中期経営計画（数値目標）の進捗状況



経常利益



Copyright (c) TOCALO Co.,Ltd. All rights reserved.

29

進捗状況です。

繰り返しになりますが、経常利益については 89 億円、105 億円、114 億円ときており、平均成長率が計画の 6.1%に対して 13.1%の見込みになっております。2026 年 3 月期の目標が 120 億円ですので、今期 114 億円上げるともうちょっとで、来年にはぜひそれを前倒しする形にしたかったのですが、来年の予定が今のところまだまだ見えないところがございます、今から精査していきます。

以上で、終わらせていただきます。どうもご清聴ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
 フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



質疑応答

司会 [M]：それでは、ご案内のとおり、最初は会場にお集まりの皆様からの質疑応答に入らせていただきます。

それでは、どうぞよろしくお願いいたします。

タナカ [Q]：ジェイ・キャピタル・パートナーズのタナカと申します。3点ございます。

すみません、もしかしたらどこかに書かれているかもしれないですけど、今期の想定の為替レートをお伺いしたいのが一つです。

二つ目、部材も含めて御社にとって調達はなかなかご苦労されていると思うのですが、今後の見通しについて、特に原価ベースはどのくらい影響を受けるのかが二つ目。

三つ目が、ROE も含めて、極めて高い水準は非常に理解をしておりますが結構なことなのですが、中長期で見たときの社長が特に考えていらっしゃる今の環境の中でリスクファクターがあるとするば、こういったところを見ておけばいいのかをお伺いしたいと思っています。

以上3点をよろしくお願いします。

話者 [A]：どうもありがとうございます。私から簡単ですけど、お答えさせていただきます。

為替レートは、2022年1-9月の平均レートとして使っているのがUSドル128円です。

そういう計算でよろしいですか。

タナカ [Q]：ごめんなさい、今期の着地予想のところで使っている想定レートは144円。

話者 [A]：すみません、128円です。

タナカ [M]：今の着地で、128円で計算しているところですね。一方、中間期までは為替差益を織り込んだので、結果として為替差益としてそれなりの額が出ているところで、引き続き128円で想定しているということですね。わかりました。

話者 [A]：それから、調達に関してですが、調達になるかどうか分かりませんが、先ほど電力費がすごく上がっているという話をしました。あと、私どもとしては材料を海外から仕入れているところがありまして、確かに上がっていますが、それほどの影響はありません。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasia.com



どちらかというところ、中国問題、ウクライナの問題で材料が入ってこないリスクの方が怖くて、それを中国以外から調達できる形にするところを含めて取り組んでいるというのが、実情でございます。リスクは金額より調達ができないところになるかと思えます。

ROE のリスク的な話ですけども、今問題になっているのは、アメリカの対中政策が影響してくるところがあって、私どもの子会社も中国にありますので、どこまでの先端技術がどう絡んでくるかなどは、まだ政府の方針もきちんと出ていませんので、何ともいえない状況です。日本政府の方針に当然合わせる形になるのですけれど。

そこの部分がどういうふうになるのか、心配な部分ではあるのですが、逆にその情報をお持ちであれば、教えていただきたいぐらいでございます。

タナカ [M]：わかりました。以上です。ありがとうございます。

話者 [M]：ありがとうございます。

司会 [M]：ありがとうございます。

他にご質問をどうぞ。

質問者 [Q]：どうもありがとうございます。二つあります。

一つ目は、溶射加工、半導体のところでリコートがあると思いますが、今例えば比率がどれくらいか、30%くらいとかというところと、あといわゆる稼働に連動すると考えた場合、今後リコートの部分も例えば減少する可能性があるとかご覧になられているか、あるいは リコートの部分はかなり安定的とかあるいは積み上がってからむしろ増えるとか、そこら辺の見通しをお聞かせください。

話者 [A]：ありがとうございます。

リコートが何%かはなかなか難しくて、ただ完全に子会社の関係はリコートです。でも単体でやっているところで、スペアというののもあって、リコートは国内ではほとんどやっていないと考えた方がよいです。

国内でやっているのは、製造装置メーカーさん以外のところでのリコートはやってはいますが、そういう意味ではひと桁台のパーセンテージです。

新作に出るやつとスペアがあって、そこの部分の捉え方もなかなか難しくて、どれがスペアなのかどれが 新作なのかというのはわかりません。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com



実際操業されていて、最初の装置に入れられたパーツにいくつかスペアがついて動いているのですが、3回洗浄したらコーディングするとかありますが、そのコーディングは大体現地でやりますので、それを例えば台湾でやる形になっています。

あと基材自体が損傷すると、今度はスペアを放り込みますので、それは大体日本からもって行く形になります。そのパーセンテージは私どもも捉えられていないのが実情でございます。

司会 [M]：マイクを近づけていただけますか。

話者 [A]：ただリコートに関しては現地でももちろんするのですが、現地のメーカーさんというかジョブショップを優先的に使う国策だと思うのですが、特に韓国では、そちらの方に回っているというのもあります。

台湾でも私どもの合併会社があり、もちろん私どもも加工していますけれども、台湾の独自のメーカーさんにもかなり回っているところもありまして、最初に出たからリコートも来るなど最初は目論んでいたのですが、そうはなかなか問屋が卸さないのが実情でございまして、非常に難しいと考えています。

質問者 [Q]：ありがとうございます。

二つ目が、産業機械で火力発電ボイラーです。今、各国の環境エネルギー政策のトーンが若干変わっている中で、トーカロさんのビジネスで今何か例えば冬を控えて変化を感じるとか、あるいはもうちょっと長い目で多少方向感性が変わりうるか、あまり変わらないのか、そこら辺の感触をお聞かせください。

話者 [A]：石炭火力で出ていましたけど、150 件のうち 100 件ぐらいはストップするだろうということで、動かす発電所は当然出てくるのですが、動かす発電所についてのメンテナンスは活発になってきているなと感じていることが一つ。

あと水素、アンモニアを入れながら混焼で石炭比率を下げていく話がかかなり出ているのと、バイオバスの関係が最近特に多くなっています。バイオマス用にコーディングをするところは、今引き合いはいろいろできていますが、それが段々動いてくるのだろうなという感じはしています。

腐食の問題も含めていろいろ損傷があるものですから、そういう形になってきています。それから、電池の関係でいいますと NAS 電池が復活してきたことがあります。

以上でございます。

質問者 [M]：ありがとうございました。

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

司会 [M]：ありがとうございます。

続いてご質問をどうぞ。

会場の質問は特にないようでございます。それからオンラインでご参加の方からのご質問でございますけども、今のところありません。

念のため、会社様から何か追加事項がございましたら、いかがでしょう。

話者 [M]：特にないようですので、また個別にございましたら対応したいと思います。

司会 [M]：それでは、以上をもちまして、本日の決算説明会を終了させていただきます。

皆様どうもありがとうございました。

話者 [M]：どうもありがとうございました。

[了]

脚注

1. 音声不明瞭な箇所に付いては[音声不明瞭]と記載
2. 会話は[Q]は質問、[A]は回答、[M]はそのどちらでもない場合を示す

サポート

日本 050-5212-7790 米国 1-800-674-8375
フリーダイヤル 0120-966-744 メールアドレス support@scriptsasias.com

免責事項

本資料で提供されるコンテンツの信憑性、正確性、完全性、最新性、網羅性、適時性等について、当社は一切の瑕疵担保責任及び保証責任を負いません。さらに、利用者が当社から直接又は間接に本サービスに関する情報を得た場合であっても、当社は利用者に対し本規約において規定されている内容を超えて如何なる保証も行うものではありません。

本資料または当社及びデータソース先の商標、商号は、当社との個別の書面契約なしでは、いかなる投資商品（価格、リターン、パフォーマンスが、本サービスに基づいている、または連動している投資商品、例えば金融派生商品、仕組商品、投資信託、投資資産等）の情報配信・取引・販売促進・広告宣伝に関連して使用してはなりません。

本資料を通じて利用者に提供された情報は、投資に関するアドバイスまたは証券売買の勧誘を目的としておりません。本資料を利用した利用者による一切の行為は、すべて会員自身の責任で行っていただきます。かかる利用及び行為の結果についても、利用者自身が責任を負うものとします。

本資料に関連して利用者が被った損害、損失、費用、並びに、本資料の提供の中断、停止、利用不能、変更及び当社による本規約に基づく利用者の情報の削除、利用者の登録の取消し等に関連して会員が被った損害、損失、費用につき、当社及びデータソース先は賠償又は補償する責任を一切負わないものとします。なお、本項における「損害、損失、費用」には、直接的損害及び通常損害のみならず、逸失利益、事業機会の喪失、データの喪失、事業の中断、その他間接的、特別的、派生的若しくは付随的損害の全てを意味します。

本資料に含まれる全ての著作権等の知的財産権は、特に明示された場合を除いて、当社に帰属します。また、本資料において特に明示された場合を除いて、事前の同意なく、これら著作物等の全部又は一部について、複製、送信、表示、実施、配布（有料・無料を問いません）、ライセンスの付与、変更、事後の使用を目的としての保存、その他の使用をすることはできません。

本資料のコンテンツは、当社によって編集されている可能性があります。

サポート

日本	050-5212-7790	米国	1-800-674-8375
フリーダイヤル	0120-966-744	メールアドレス	support@scriptsasias.com

